

第33回新潟県少年少女空手道選手権大会
 兼 第17回全日本少年少女空手道選手権大会新潟県予選会、
 並びに第12回北信越小中学生空手道選手権大会新潟県予選会開催要項

- 1 主催 新潟県空手道連盟
- 2 協賛 公益財団法人 全日本空手道連盟
- 3 主管 新潟市空手道連盟
- 4 後援 新潟市 新潟市教育委員会 新潟市体育協会
 (予定)
- 5 期日 平成29年5月7日(日)
 受付：午前8時～8時30分 監督会議：8時30分
 開会式：8時40分 試合開始：午前9時 午後5時終了予定
- 6 会場 白根カルチャーセンター 新潟市南区上下諏訪木 1775-1 Tel(025)373-6311
- 7 競技種目 全種目個人戦

男子形	(1) 小学生1年男子形	女子形	(7) 小学生1年女子形
	(2) 小学生2年男子形		(8) 小学生2年女子形
	(3) 小学生3年男子形		(9) 小学生3年女子形
	(4) 小学生4年男子形		(10) 小学生4年女子形
	(5) 小学生5年男子形		(11) 小学生5年女子形
	(6) 小学生6年男子形		(12) 小学生6年女子形
男子組手	(13) 小学生1年男子組手	女子組手	(19) 小学生1年女子組手
	(14) 小学生2年男子組手		(20) 小学生2年女子組手
	(15) 小学生3年男子組手		(21) 小学生3年女子組手
	(16) 小学生4年男子組手		(22) 小学生4年女子組手
	(17) 小学生5年男子組手		(23) 小学生5年女子組手
	(18) 小学生6年男子組手		(24) 小学生6年女子組手

8 出場資格

- (1) 新潟県空手道連盟加盟団体に所属し、新潟県空手道連盟個人会員登録及び(公財)全日本空手道連盟個人会員登録済みの者。
- (2) 全日本少年少女空手道選手権大会の出場選手は、全空連会員で全空連公認段位または級位を保有していることが必要となる。

9 審判員等

- (1) 審判員は、(公財)全日本空手道連盟全国公認審判員及び地区公認審判員並びに新潟県空手道連盟公認審判員により編成する。
- (2) 出場選手の所属団体は審判員と競技補助員をそれぞれ1名以上帯同すること。なお、審判員を選出できない団体は、2名以上の競技補助員を帯同すること。(参加申込書の氏名欄に記載する)
※全少予選はコート数が多く審判員が不足するため審判員資格者はなるべく審判員として参加をお願いします。また、競技補助員は団体の指導者等競技規定を熟知している方を帯同して下さい。

10 競技規定

- (1) 競技は、(公財)全日本空手道連盟競技規定及び新潟県空手道連盟申し合わせ事項により実施する。
- (2) 形競技
 - ① 形競技は競技規定によるトーナメント方式とする。
 - ③ 競技は2名同時に演武し、判定は旗判定とする。
 - ③ 回戦毎に演武できる形は次のとおりとする。

	演武できる形の種類	通過者数
1回戦から ベスト8まで (予選)	ゲキサイ第1・第2、平安またはピンアン初段～五段の中から選択する。同じ形を繰り返し演武できる。	→8名
ベスト8から (決勝)	全空連第1指定形・第2指定形、および予選で演武していない上記の形から選択する。同じ形を繰り返し演武できる。	

(3) 組手競技

- ① 組手競技は競技規定によるトーナメント方式とする。
- ② カデットルールを採用する。(全空連競技規定第8条 [禁止行為])
- ③ 競技時間は小学生1～2年は1分間、小学生3～6年は1分30秒のフルタイムとする。なお、出場人数により変更もありえる。
- ④ 勝敗は、6ポイント差が生じた場合、または競技終了時に得点の多い選手、同点の場合は先取した選手を勝ちとし、両者得点が無い、または同点で先取が無い場合は審判員5名による旗判定で勝者を決定する。

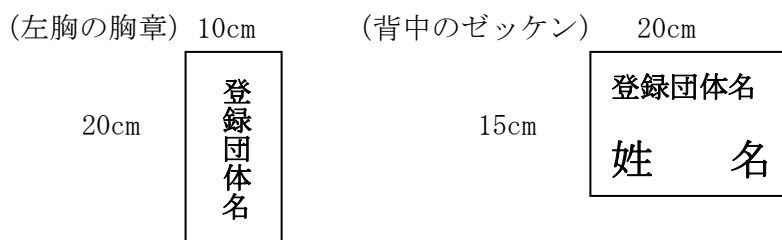
11 出場人数

- (1) 出場人数は、団体別の制限を設けない。
- (2) 監督は、形競技・組手競技の各1名(1団体2名)まで認める。なお、監督は出場申込時に監督登録を行なうこととし、当日の変更は認めない。
 - ① 各団体の監督は、競技中の選手以外は競技場内に入れないこと。競技の終了した選手は速やかに退場させること。

② 報道関係を除き競技場内へのカメラ、ビデオカメラ等の搬入を禁止する。

12 服 装

(1) 出場選手は、全空連競技規定第2条〔服装〕に規定された白の空手道衣を着用し、左胸に登録団体名を記入した胸章と、背中に登録団体名と姓名を記入したゼッケンを付けなければならない。なお、胸章以外に道着の裾にネームが入っていても構わない。(国際大会では禁止)



また、県連登録時の団体名以外の流派、会派、道場名等のマークの使用は一切認めない。

- (2) 赤帯・青帯は各自で全空連検定の帯を用意して着用すること。主催者では用意しない。
なお、帯にネームが入っていても構わない。(国際大会では禁止)
- (3) 監督は白の空手道衣を着用すること。また、県連登録時の団体名以外の流派、会派、道場名等のマークの使用は一切認めない。空手着を着用しない監督は競技場内へは入場できない。

13 安 全 具

(1) 組手競技においては、危険防止のため次の安全具を使用すること。安全具を使用しないものは失格とする。

- ① 全空連検定メンホー
- ② 全空連検定小学生用赤・青リバーシブル拳サポーター
- ③ 全空連検定ボディプロテクター (サイドガードの有るもの)
- ④ 全空連検定小学生用シンガード及びインステップガード
- ⑤ セーフティカップ (女子は除く)

(2) メンホーは次のものを使用する。

- ① ニューメンホー、ニューメンホーIV (フォー)、V (ファイブ)、及びVI (シックス)
- ② ニューメンホージュニア (小学生用)

ただし、全日本少年少女大会ではニューメンホーV以上のみ使用可。

なお、来年度の本大会から、ニューメンホー、ニューメンホーIV、ニューメンホージュニアは使用できない。

14 選 手 選 考

(1) 各種目の上位2名は、**第17回全日本少年少女空手道選手権大会**の出場選手とする。ただし、形・組手の2種目に重複して出場できないのでどちらか1種目を選ぶ。

- ① 昨年の全日本少年少女大会で3位までに入賞した選手は別枠で同種目の出場権・シード

権がある。

② 形・組手に重複し、その種目に欠員が生じた場合は3位、または4位の選手まで繰り上がり出場選手とする。

(2) 各種目の上位3名は、**第12回北信越小中学生空手道選手権大会**の出場選手とする。形・組手の2種目出場可。ただしシード制度はない。

(3) 上記2大会に帯同する監督・コーチは、理事会で決定する。

(4) 5年生・6年生の男女形・組手のベスト4を2017ジュニア強化指定選手に選出する。
また、1年から6年までの全日本少年少女大会・北信越大会出場者は、各大会前にそれぞれ大会練習会を行う。

15 表 彰 形競技、組手競技とも各種目8位まで表彰する。
優勝、準優勝、第3位…各1名 優秀選手…5名

16 出場参加費

(1) 大会出場参加費は、1人1種目2,000円、2種目3,000円

(2) 出場参加費は次の指定口座へ**団体名**で振り込むこと。参加中止による返金はしない。

にいがた南蒲農業協同組合 大崎支店 普通 0008040

にいがたけんからてどうれんめいたいかいとくべつかいけい じむきょく のみず ゆうじ
新潟県空手道連盟大会特別会計 事務局 野水 雄二

振込み手数料は自己負担とする。

(3) 送金後、必ずFAXまたはメールで次の情報を伝えること。記録の残らない電話は不可。

- ① 団体名
- ② 振込者名
- ③ 大会名 : 「少年少女大会」
- ④ 振込日
- ⑤ 金額

17 提出書類 ①大会出場申込書
②大会参加個人カード(カード1枚に1人1種目を記入して切り離す)
③出場参加費納付書
④出場参加費振込み控えの写し
上記を同封して送付すること。FAX、メールでは受け付けない。

18 提出期限 平成29年4月7日(金)必着。
定められた資格条件でない者、提出書類の不備(個人カードの未提出等)および提出期限を過ぎた場合は出場を認めない。

19 提出先 〒955-0032 新潟県三条市東大崎2丁目8番71-7号

新潟県空手道連盟大会事務局 野水雄二

TEL/FAX : (0256) 38 - 7055 E-mail : nomizu_r@nct9.ne.jp

20 傷害処置

- (1) 選手は各団体の責任の下で傷害保険に必ず加入のうえ出場すること。
- (2) 選手が競技中に負傷した場合は、主催者において応急処置を行うが、不慮の事故等については一切の責任を負わない。選手は必ず保険証を持参すること。
- (3) 選手は主催者で一括して傷害保険（レクリエーション保険）に加入する。

21 その他

- (1) 各団体は登録団体名を記載したプラカードを持参すること。
- (2) 抽選は新潟県空手道連盟事業部会において行なう。